



隧道工事編と隧道會議錄

此の出版に關しては鶴田社長から何かの記事を書かれる筈でありましたが、目下多忙の際でしたから取あへず私が代理致す事となりました。私も忙中の短編で責を免れる事に致します。(岡崎生)

隧道工事編

1

四六倍判三百八十頁の内に九十の圖版と百十二の表を含む、形から云ふと丸善發行の田邊博士のトンネルと同形で少し木の厚いのが異ふ丈である。

内容は四編に分ち第一編は尾三電力株式會社の時瀬水力工事を二百四十六頁に第二編は山陽鐵道船坂隧道工事を四十七頁に、第三編は參考資料として煉瓦記事と大正四年工事の木戸山隧道崩壞記事と臺灣の埤洲隧道工事記事とフオックス氏ピース氏の時瀬工事の視察記事と著者の感想等を二十三頁に編纂したものである。

2

岩石隧道の掘鑿工事に就て私達の經驗は合理的な穿孔を迅速にやる
合理的な爆發をやる
礪出を迅速にやる

此の三つの仕事に對して根本の注意點は

- 一 良く準備する事
- 二 迅速にやる事

機械類を多く使用する場合には特に用意周到なる材料器具設備の準備が先づ第一である、之が出来たら次は傍目もふらず疾風迅雷

的に迅速なる作業をするのである。特種な條件の生じない限りは隧道工事は此丈の實行であります。私は本書が西畑氏の貴重なる體驗から得られたノートから出来てをるご聞いてをつたので、本書の内から必ず此種の實行の何物かを期待してをつたのであります。

3

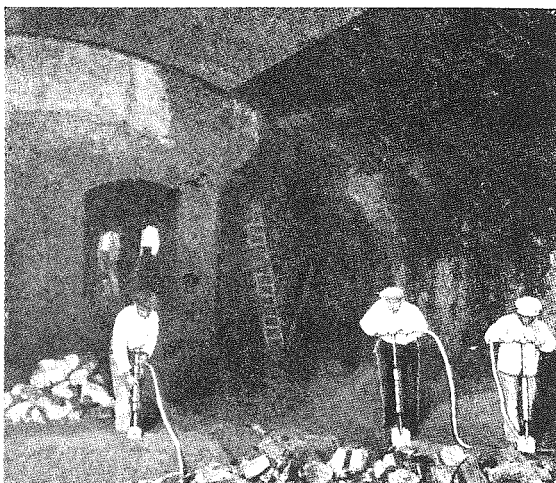
愈々出版せられました隧道工事編を今回手にして其内容を拜見する事になつたのは私に於ては實際非常な喜びでありました。私は忙しい時間を都合しつゝ、四日程で概略眼を通しました。

内容の全體を通じて何處に氏の實行の特長があるご云ふ點を見ません、尾三電

力の社長關口氏は本書の序文に於て名文を以て編者の態度なり本書の内容なりを激賞してをられますが、私達第三者から見るご物足りない點が多いのであります。

4

工事界に對して私達の望むものは眞劍なる技術家の體驗であります、少くも自分の抱負を以て現場に出て萬難を排して多少でも自分の努力を樂み得た記録が欲しかつた、然し西畑氏の此の著に對して私は西畑氏のオリジナルが何處にも見られないとを遺憾に思ふものである。



(A) 圖はスペインマドリード市の地下鐵道でニューマチックのクレデツガーを使ひ粘土を掘つてなる狀景(最近のインガーソルパンフレットより)
Trench and Clay Diggers Picking Hard Clay in Excavation Work at a Station in Subway, Madrid, Spain. Ingersoll-Rand Portable on Street Above Supplies Air Power.

5

隧道工事は他の工事に比較して最も不進歩の状態にある、それだけに研究すべき餘地を實行すべき多くの餘地があります、然し私は西畑氏一人に對して隧道工事總てに渡る研究を期待するものではないが、本書に對して何か西畑氏の獨特のものを一つ求めたかつた。本書に就て若し強いてそれを求むるならば隧道工事編として此の請負工事の記録を纏めたる努力を出版する迄に漕ぎ付けた努力其物であります。

特に請負工事の記録は從來餘り發表せられた事を聞かないが、本書に於ては堂々然も赤裸々に（語弊があるかも知れないが）發表せられた事は本書の特長の一であります。

斯る點に於て本書が水力電氣のプラントに關する参考書たり、隧道工事の良参考書たる事は充分に認められるのであります。

6

土木家特に現場に働く人は兎角筆不精になるものである

が、西畑氏が此丈の記録を一人で纏められた事は確かに大なる努力である、所謂大家が部

下の大衆をして編ましめるのなら別に問題はないが、西畑氏は自ら編み自ら出版につくされた事を思ひます。其自ら編み自ら出版する事も氏の生命の溢れたる尊い體驗です。

7

今後現場に臨む新人に對して私は希望します、假令ド・ナツマラヌ土木仕事でも、小豫算の工事でも、一の井戸堀や一の石積工事でも必ず自分としての案を以て其實地に努力する事である、而して自分の案を實際に如何程

變化して行くかが研究點たり、面白い處である。如何にして早く出来るか、如何にして經濟に出来るか、平生ツマラヌと思ふ仕事にも必ず趣味があり自分としての生活意義が確立するわけであります。

尙内容の詳細は前號本誌の廣告にある目次を一見すれば分ります、且つ出版者からは内容見本を自由に提供するこの事です。

（四谷區大正商工社 出版定價金拾圓）



(B) 粘土の切取掘鑿に對しては此のニューマチックのクレデツガーが最も適當してゐる。ニューマチックによる費用は手掘でやる費用の約三分一強である。（インガーツルパンフレットより）

No.56H Clay Digger Working in Tunnel Through Clay. Showing how the Clay is Sliced Away.

次號には最も有益且つ興味ある鐵道省の隧道會議録を述べまじやう。（九月二十七日）

工事能率

廣井勇先生曰く日本にでもフーツアー氏の如き人物はあるだらうが、腕はあつてもそれだけ働く舞臺がない、隨つて有爲の人物はあつても働く機

會がないのである。

第一國が狭いから些と大工事があると直に其道の人が足りないと言ふ、又少し工事が下火になると人が餘つてやり場に困ると言ふ始末である。